

団体名 **沖縄県立島尻特別支援学校**

連絡先 TEL : 098-998-8240

**1 実践事項 ( ② )**タイトル：「教科指導における授業の工夫・改善」**2 実践内容**

- ① 小学部:児童の実態に応じた国語、算数の学習グループを編成し星本を活用して授業を行った。他教科についても改訂学習指導要領を基に指導を行った。
- ② 中学部:改訂学習指導要領を基に、それぞれの教科において3学年で学習する内容や授業実践について研究・研修を行った。
- ② 高等部:学習意欲の向上、将来の社会参加に向けた取組みとして各種検定へのチャレンジを推進した。また改訂学習指導要領(教科指導)について各教科や学部全体での研修を行い、授業実践を行った。

**3 説明資料 (写真、グラフ、図、表など)**

- ① 小学部:実態別の学習グループにおいて、各担当教諭で指導内容や教材準備に取り組んだ。各教科に分かれ改訂学習指導要領を基に指導内容の整理(島尻スタンダード作成)の話し合いを行った。



ア 10までのかず(算数)



イ 買い物をしましょう(算数)



ウ ひらがなをよんでみよう(国語)

- ② 中学部:定期的に教科職員で集まり、情報共有・意見交換等を行った。3年間を見据えた指導内容の整理(島尻スタンダードの作成)を行った。
- ③ 高等部:漢字検定10級～6級へ13名、パソコン操作検定(Word、Excel)へ15名が受検した。また特別支援学校技能検定(接客部門・メンテナンス部門)へも3名が受検した。教科指導においては各教科3年間を見据えた指導内容の整理(島尻スタンダード作成)を行った。

**4 成果**

- ① 小学部:基本的生活習慣の獲得に加え、星本を中心とした教科学習に取り組み学習に向かう意欲が高まってきた。教師間で指導内容の整理や評価について共有する機会が増えた。
- ② 中学部:改訂学習指導要領を基に、各教科において3年間で学習する内容について再確認することができた。教科職員での情報共有・意見交換等を通して、教科指導に関する意識が高まった。
- ③ 高等部:漢字検定では8級(1名)合格、特別支援学校技能検定メンテナンス部門では1級(3名)、パソコン操作部門2級～10級(15名)の認定を受けた。各教科においては3年間の学習内容を再確認し、共通認識をもって教科指導が行えるようになってきた。

**5 課題**

- ① 小学部:実態に合わせた指導内容と教材準備、評価や引き継ぎについて整理のための検討が必要である。またその時間の確保が必要である。
- ② 中学部:生徒の実態に応じた学習グループを編成しているが、グループ内でも個々の実態が異なるため、どのように教科指導をしていくのか、実践・検討が必要である。
- ③ 高等部:学びの履歴を目に見える形で残し、教師間で引き継ぐことがまだまだ不十分である。学習の実態が幅広く教科指導のあり方を今後も研鑽していく必要がある。